



第1回まちゼミ「伏見講話」レポ

テーマ「伏見の観光とまちづくり」

2012/9/17 14:00～16:30

場所：伏見区役所第5会議室

参加者 17名

～Piers' n Peers 代表 藤崎壮滋氏を迎えて～

記念すべき第1回伏見講座 9/17（月）に「伏見の観光とまちづくり」をテーマに Piers'n' Peers 代表の藤崎壮滋氏に、ご講演していただいた。

藤崎氏は、1974年の千葉県市川市生まれで、京都に自身のお店である Piers' n Peers を構えるまでは、海外で貿易業等を営んでいた。

現在、藤崎氏は Piers'n' Peers（以下、ピアピアと略記）を拠点として様々な活動を行なっている。ピアピアにおけるサロン活動、伏見の街を様々な時代衣装をまとい練り歩く「**伏見時代扮装パレード**」などを企画され活発に活動されている。

藤崎氏は自身がピアピアに込める想いをこう語る。「**Piers'n' Peers**の最初の Pier には栈橋という意味があり、次の Peer には仲間という意味があります。伏見の土地はかつて坂本龍馬をはじめ多くの志をもった偉人たちが駆け抜けた交易浜であり、港であったという土地の記憶を喚起し、まちづくり仲間という同志たちとともに新しい伏見の文化を船出させる基地にしたい。そうした想いを二つのピアにかけています」。

藤崎氏は自分のまちづくりに掛ける想いのモチベーションについて語ってくれた。それは第一に、「伏見という街に出会ってしまったこと」だ。大学院進学に伴い、京阪沿線で大学に通えるアパートを探していたところ、活気のある商店が並び、豊臣秀吉が作った街、あるいは坂本龍馬が駆け抜けた街という歴史を感じさせる伏見の街に出会ったという。

次にその伏見でやりたいこととして「観光をてこに伏見を日本一歩いて楽しい街に」という目標を掲げた。これを達成するための課題として、埋もれている伏見の歴史・文化・景観・自然などの魅力を掘り起こしていくこと、中心市街地の活性化と「歩くまち」化、伏見に住んでいる人々に誇りを持たせること、また特有の狭い道路を我がもの顔で通り抜ける自動車の抑制など。藤崎氏の言う「観光をてこに」とは、単に伏見の観光地化を目指すというわけではなく、観光地化、あるいは住んでいる人にも訪れる人にも楽しんでもらえるようなまちづくりを通じて街を元気にするための手段なのだ。

最後に藤崎氏は、ピアピアを通じたサロン活動、音楽、民芸品、工芸品などを増やしてよりよい店づくりをしていきたいと語る。氏はこうした活動をまとめて「**ソーシャルファシリテーション**」と言い、ピアピアに集う同志たちが相互に助け合い有機的につながることによって、よりよく社会と交わっていくことを語ってくれた。

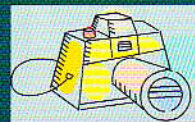
講演会後に藤崎氏を交えて行われたディスカッションでは、伏見の街に様々な形で関わる人々によって活発な議論がなされた。商店街とピアピアとの関係、久我の杜、羽東師のまちおこしについて様々な話題が飛び交った。ここに全て書くことはできないが、まちゼミでの議論は自分の住む街を大切に思う人が、こんなにも多くいるのだと感じさせてくれる良い機会となったのではないだろうか。



文責：門下 耀（龍谷大学）



3rd まち歩き Follow Up



テーマ：「歴史のまち・伏見を感じる！～城下町から宿場町へ～」

■ コンセプト：伏見のまちを巡りながら、まちの歴史・変遷に思いをはせ、伏見の歴史を感じる風景や場所を写真におさめながら探つてゆく「まち歩き」を行なう。

■ 日時：2012/10/7(日) 13:00～17:30

月見館 Start! → 観月橋にて御神輿見学 →

A コース → 伏見奉行所跡 → 魚三樓 → 御香宮神社 → 伏見薩摩藩邸跡地 → 丹波橋・濠川 →

B コース → 弁天橋 → 遠見遮断・南浜 → 伏見御坊祉・四ツ辻の四ツ当り → 蓬莱橋 → 合流！金札宮 → Goal! 伏見区役所

Start!

月見館

月見館にて、南光大氏から三十石舟のお話をコーヒーや紅茶を頂きながら伺う。

資料館→



京都伏見の旅館

「桃山温泉 月見館」

<http://www.tsukimikan.jp/>

観月橋付近

当日は、御香宮の祭りであった。そこで、観月橋を神輿が渡り、伏見の街中を練り歩く前の光景を見学。

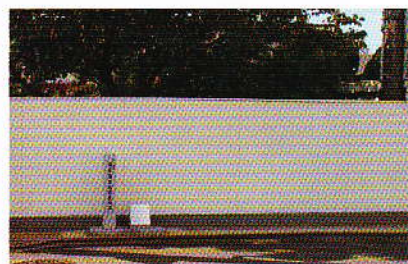


A course

伏見奉行所跡

ここでは、草で隠れた石垣を見てもらい、解説板に書かれた内容を読んでもらった。また、筆者の師がいつも言っていたことを伝えさせていただいた。
「こんな草ぼうぼうでええんか・・・」

伏見薩摩藩邸跡



魚三樓

魚三樓の表格子に、鳥羽伏見の戦いで銃弾が被弾した痕跡が残っていた。参加者からは、こんなに生々しく残っていることに驚きの声が上がった。

御香宮神社

当日は、二代将軍・徳川秀忠が長女・千姫の誕生を祝い御香宮に寄進したといわれる千姫神輿(祭りの期間中限定公開された)と御香水の辺りで簡単な解説を行った。当日は混雑していて大変でした。

丹波橋と濠川



B course

遠見遮断・南浜

伏見奉行所を防衛するための街路が現在も残っている。油掛通りと、200メートル南の立石通りが東西に平行して走り、いずれも奉行所から300メートルほど西へ行ったあたりで竹中町通りと交わる。そこは街路がL字型、T字型に突き当たる遠見遮断の構造となっている。敵軍からは遠くまで見通せず、まっすぐ攻められないようにするためである。



また、南浜界限には米問屋・薪問屋・材木問屋が軒を並べ“伏見三仲間”と呼ばれる経済の中心となった。ここは、物流の中心地であり、多くの人の往来でにぎわった所である。

伏見御坊址・四ツ辻の四ツ当り

油掛通りの突き当たりの北側(現在の伏見幼稚園)に、かつて**伏見御坊**と呼ばれた東本願寺伏見別院があった。鳥羽伏見の戦いでは、**会津藩**が本陣を置いた。その戦災で損傷を受けた御堂は、1885年(明治18年)に建て替えられ、1990年(平成2年)老朽化のため、解体した。現在は、**山門**、**鐘楼**、**大銀杏樹**だけが残っている。



合流地点

きんざつぐう
金札宮

伏見で最も古い神社の1つで、天太玉命(あめのふとたまのみこと)を祀っている。室町時代につくられた「**伏見九郷之図**」においては、金札宮は、御香宮に匹敵する規模をもっていた社であることがわかる。

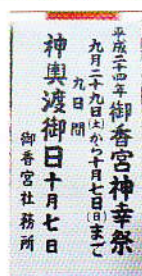


神主さんにお話を聞く

また、その図においては、現在、御香宮の境内にある“**白菊石**”が、本殿の背後に描かれていることから、ある部分で御香宮と重なる信仰をもった社ではないかとも考えられている。

蓬莱橋

宇治川派流は昭和になって幅を狭められたが、かつてはいまの倍ほどの幅を持ち、元禄期に架橋された蓬莱橋という太鼓橋は全長**70m**もあったという。この橋は当時**遊郭**があった中書島に入るための唯一の橋であった。



<ガイドとして・・・>

伏見城の城下町と宿場町の伏見を感じるというコンセプトであったが、実際に皆さんと歩いていると、伏見の神社と鳥羽伏見の戦いの遺構、酒蔵というまとまりの無いものでありました。

しかし、わずか2年しか存在しなかった伏見市の痕跡や北政所と淀君の衣装を着た美人、丹波橋から見た濠川の光景・・・いい写真を撮影して頂けたこと、感謝です。そして、ガイドと時計と睨めっこで写真を撮影できなかったことを心の中で悔やんでいます(西野浩二)



私の「イチオシ」カフェ



～ほっこり ときが流れる くつろぎの空間～



伏見の竜馬通り商店街 この地に OPEN して

9月10日で 3周年を迎えた カフェ「月のとき」



築100年あまりのお茶屋さんの蔵をリノベーションされたおもむきのある建物です。一階店頭には 美山の特産物が販売されるコーナーがあり その奥にカウンター席。階段を上がると2階は ゆったりくつろぎのテーブル席。梁や柱もそのまま活かされ、古いものの中に新しさが 融合した落ち着いた雰囲気。

メニューは 美山や京北産の新鮮な **野菜 牛乳 卵**などの食材をたっぷり使ったパスタやオムライス、地元の酒蔵の**酒粕を使ったカレーやスイーツ**など、このお店でしか味わえない 豊富なオリジナルメニューです。小松菜を丸ごと使った**小松菜ジュース**や **かぼちゃや人参を使ったパフェ**など 新鮮な野菜だからこそ 引き出せる野菜の旨味や甘味を活かしたオリジナルスイーツもおすすめです。またこのお店では、店内のスタッフの方の笑顔が印象的。社長さんをはじめ、スタッフの皆さんが マニュアル化されていない 生きたコミュニケーションを大切にされています。食を通じ人と人が笑顔でつながる そんな場であって欲しいと社長談。店内にはグラフィックデザイナー**片倉文恵**さんのデザインされたお店のイメージアートが展示され、人が集う場として ギャラリーや各種イベント、パーティーなども開催されています。

月 太陽でも星でもない 優しく温かい光が
この街のイメージ...

そんな優しく温かい時間が流れるカフェ「月のとき」
地元の方々に愛され これからの伏見の街の
発展に貢献されていかれます。

～お店情報～ 

住所 京都市伏見区中油掛町 108(竜馬通り商店街内)

営業 10:00～19:00 月曜定休日 (月曜日が祝日の場合は営業) TEL 075-604-6711

URL <http://www.tsukinotoki.com/>

2012.08.22 05:56 Wed Copyright FUSHIMICHELIN フシミシュラン All Right Reserved.

フシミシュランのアドレス : <http://fushimichelin.blog.fc2.com/>

おしらせ♪

第2回まちゼミ「伏見講話」開催！

テーマ「開発政策と人口からみる伏見の発展」

- ・ 講師：大学生 居藤智美・熊野貴文
- ・ 11月25日(日) 14:00～16:30 伏見区役所第5会議室にて
- ・ 参加費 500円(茶菓子・資料コピー代) ※要申込み

申し込み先

谷口英明

メール : t_hide314@yahoo.co.jp

電話・fax : 075-603-3595

Facebook : 「伏見歩き隊」で検索！

【編集後記】こんにちは。「まちゼミ通信」記念すべき初号です。いかがだったでしょうか？少しでも伏見歩き隊の活動を知って頂けたら幸いです。編集：伏見歩き隊 tomomi